

9 社会変化に対する意識

< 社会変化に対する意識 >

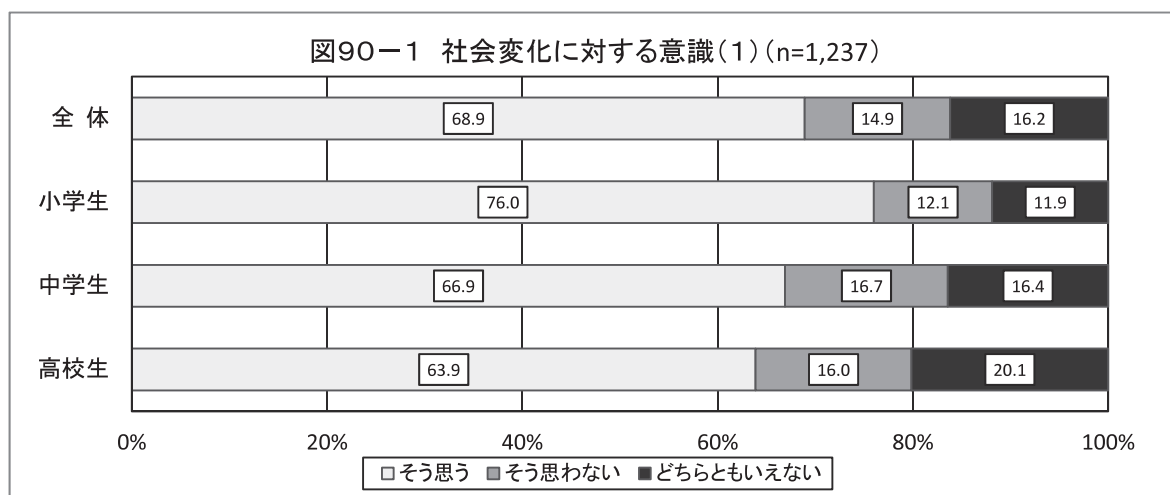
問26	次のような考え方について、あなたはどのように思いますか。あてはまるもの一つを選んで○で囲んでください。
(1)	親が年老いたら、子どもが世話をしたり面倒を見るのは当然だ

【全体集計結果】

親が年老いたら、子どもが世話をしたり面倒を見るべきかどうか尋ねたところ、「そう思う」が68.9%で最も高い。

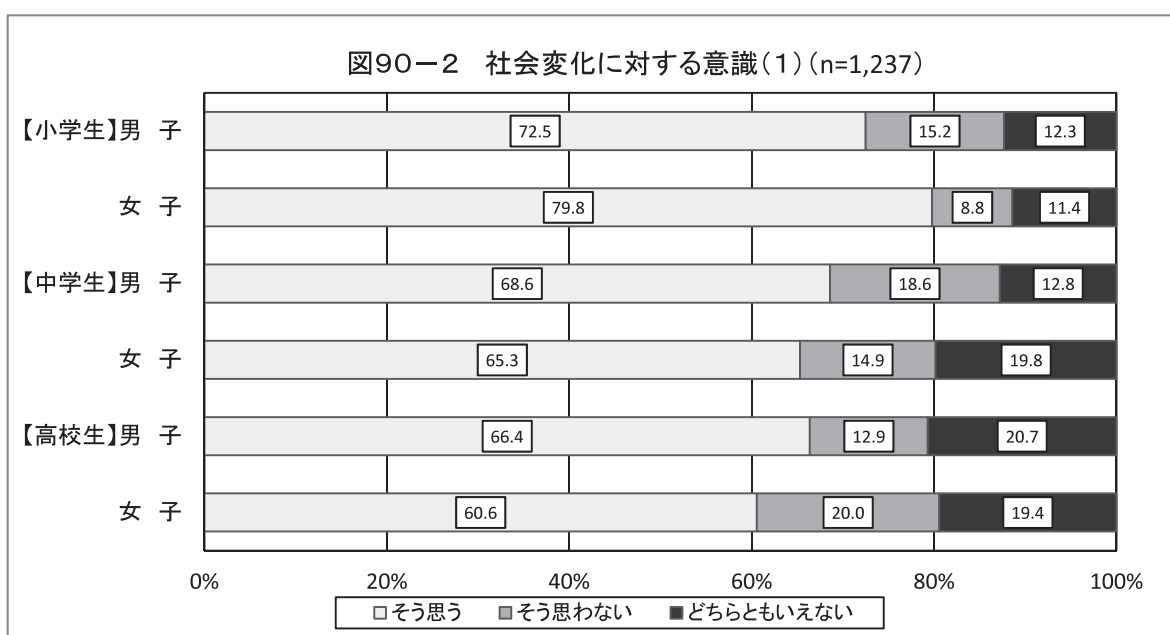
【学校種別集計結果】

「そう思う」を見てみると、小学生が76.0%で最も高く、以下、中学生(66.9%)、高校生(63.9%)となっている。



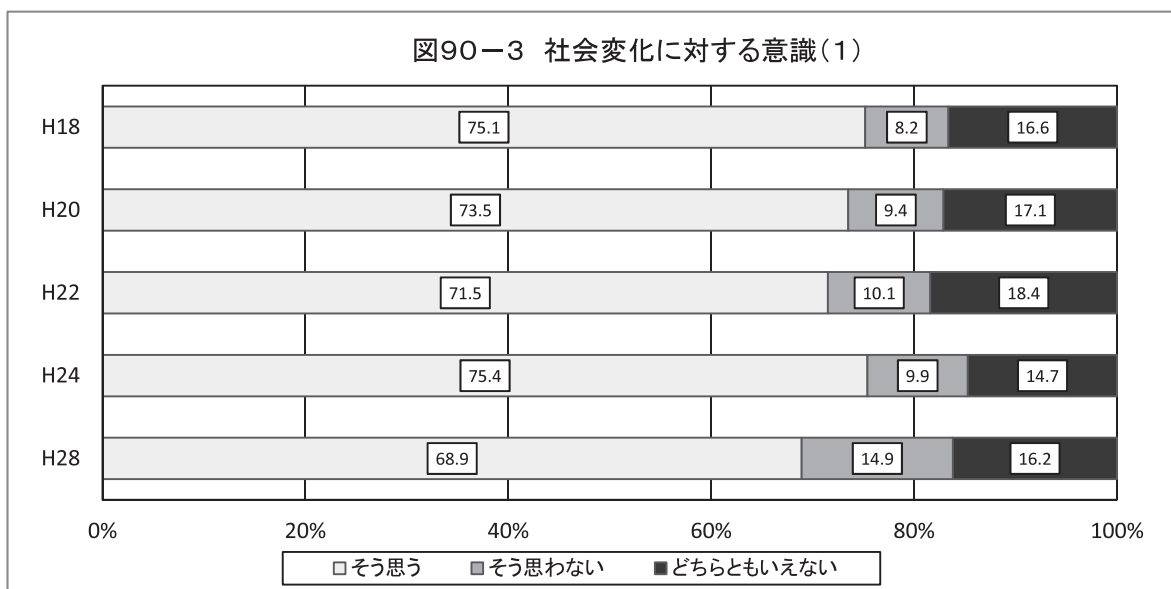
【属性別集計結果】

「そう思う」を見てみると、小学女子が79.8%で最も高く、以下小学男子(72.5%)、中学男子(68.6%)となっている。



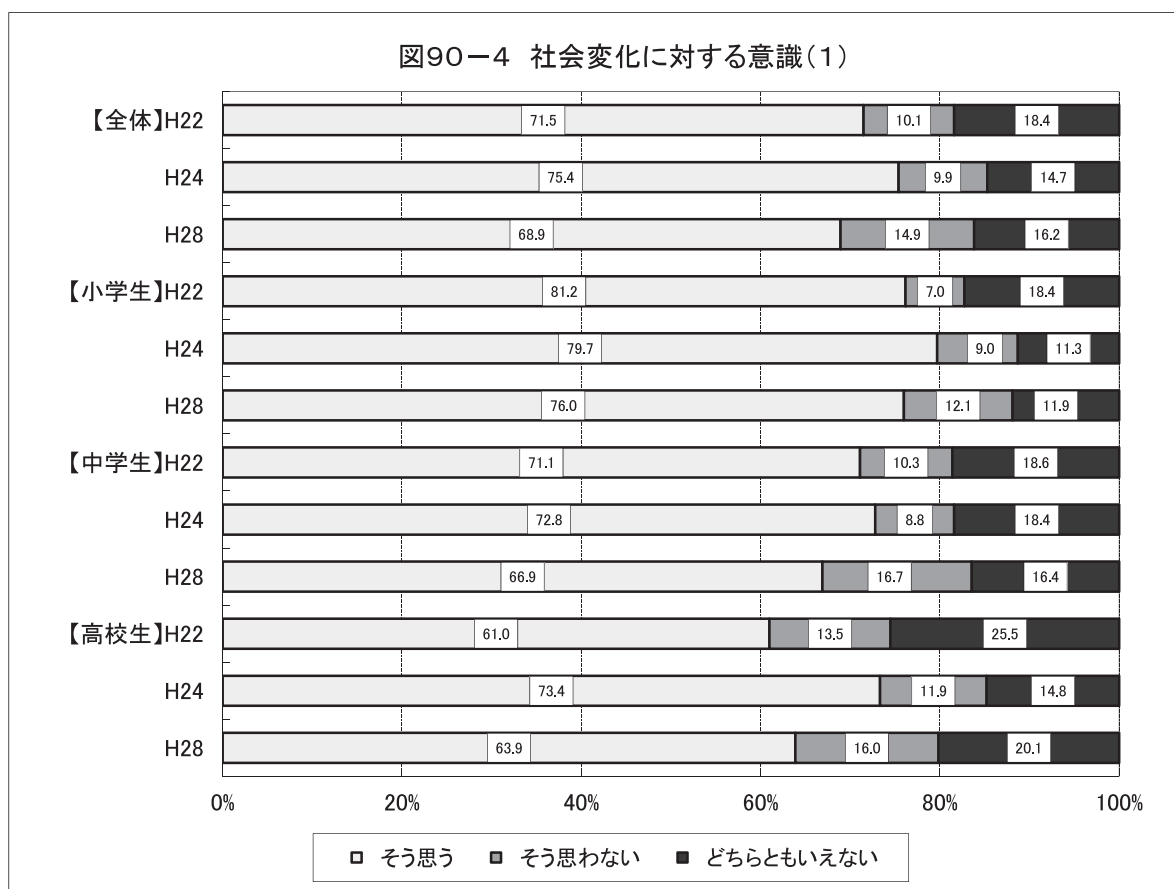
【経年変化】

24年度調査と比較すると、「そう思う」について6.5ポイント減少し、一方、「そう思わない」について5.0ポイント増加している。



【時系列比較(平成24年度、26年度と28年度との比較)】

「そう思う」を見てみると、全体では24年度より6.5ポイント減少している。学校種別において、24年度と28年度を比較してみると、小学生では3.7ポイント、中学生では5.9ポイント、高校生では9.5ポイント減少している。



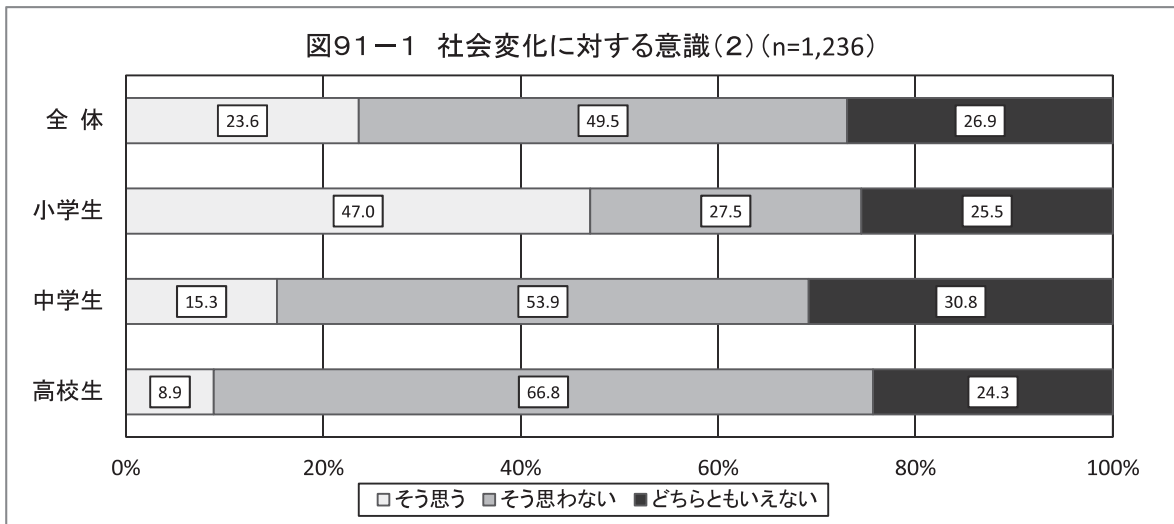
(2) 殺人や暴力シーンが出てくるテレビや映画・ゲームはよくない

【全体集計結果】

殺人や暴力シーンが出てくるテレビや映画・ゲームはよくないかどうか尋ねたところ、「そう思わない」が49.5%で最も高い。

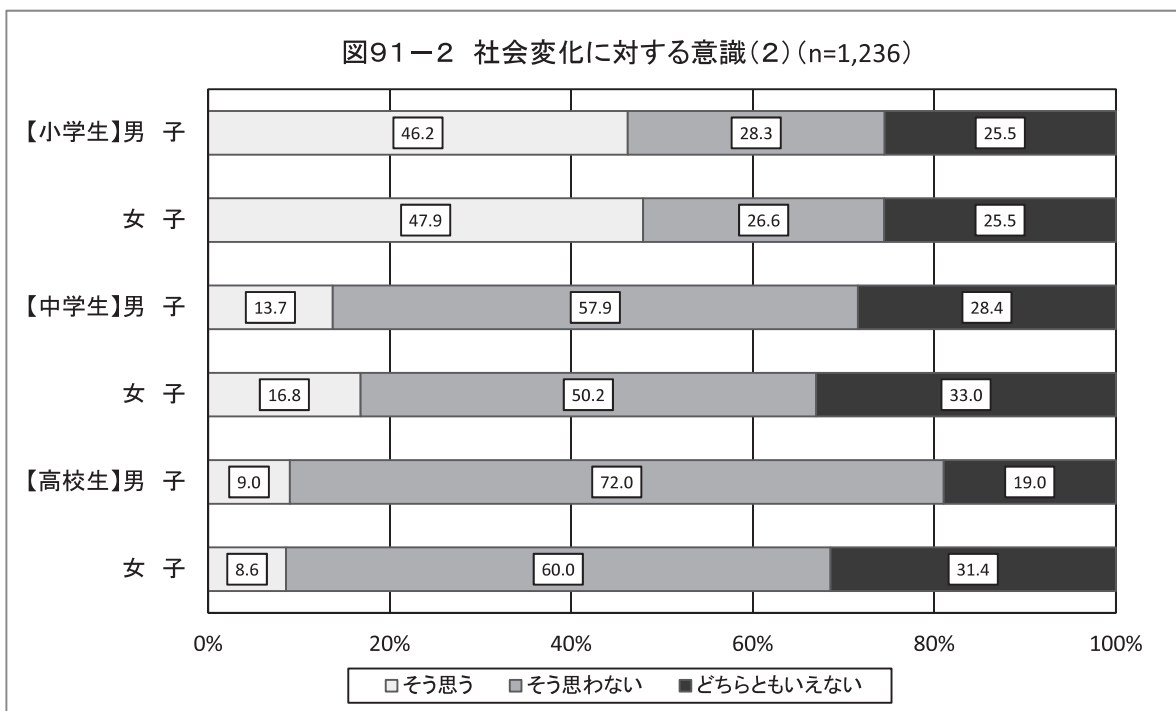
【学校種別集計結果】

「そう思わない」を見てみると、高校生が66.8%で最も高く、以下、中学生(53.9%)、小学生(27.5%)となっている。小学生については、「そう思う」が「そう思わない」よりも高くなっている。



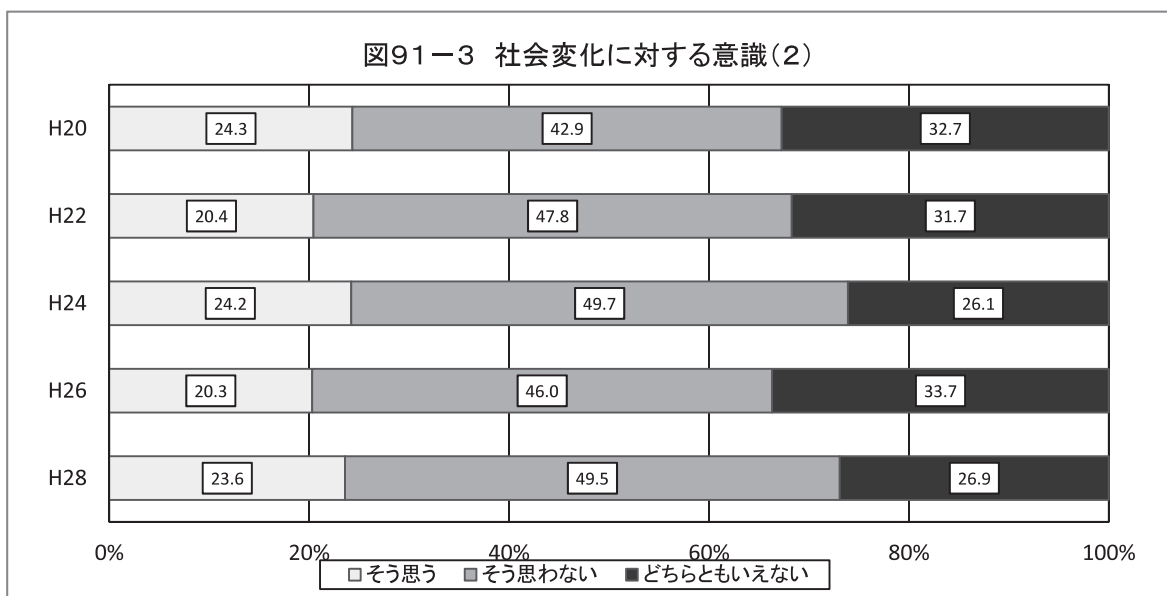
【属性別集計結果】

「そう思わない」を見てみると、高校男子が72.0%で最も高く、以下高校女子(60.0%)、中学男子(57.9%)となっている。



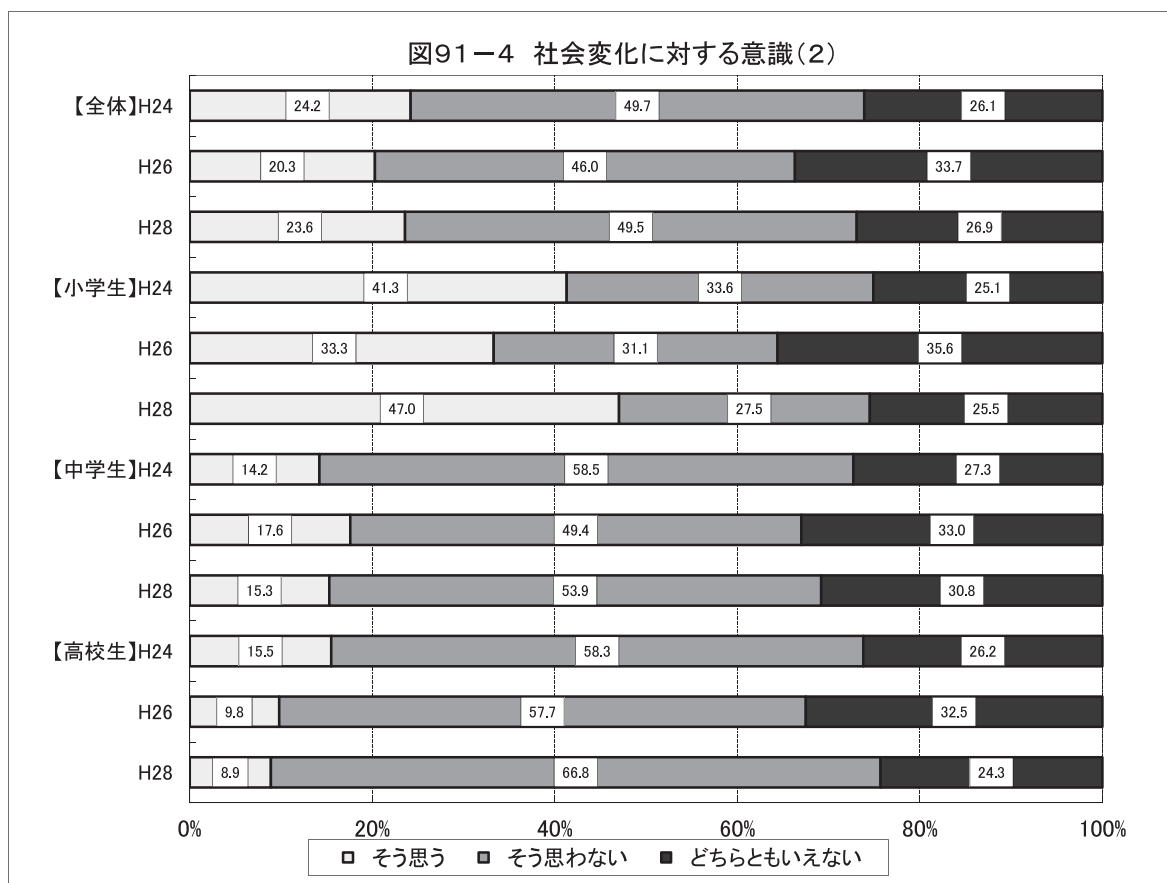
【経年変化】

過去の調査と比較すると、「そう思わない」について、増加傾向にあり、26年度調査より3.5ポイント増加している。



【時系列比較(平成24年度、26年度と28年度との比較)】

「そう思わない」を見てみると、全体では24年度より0.2ポイント減少しているが、26年度より3.5ポイント増加している。学校種別において、26年度と28年度を比較してみると、小学生では3.6ポイント減少しているが、中学生では4.5ポイント、高校生では9.1ポイント増加している。



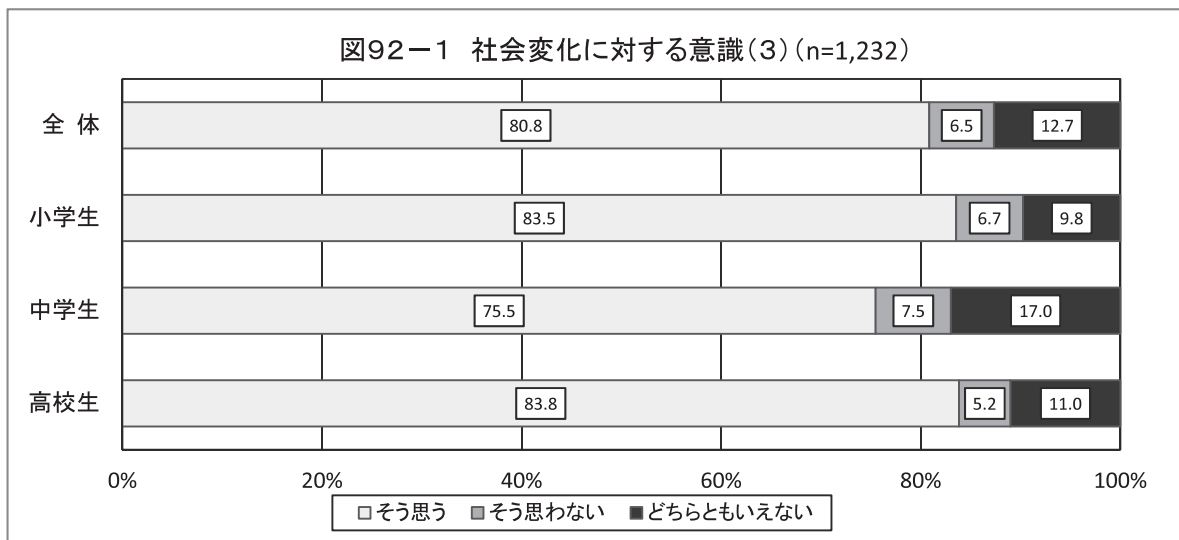
(3) 男性、女性の区別なく、ともに家事や育児や介護をするのは当然だ

【全体集計結果】

男性、女性の区別なく、家事や育児や介護をするべきかどうか尋ねたところ、「そう思う」が80.8%で最も高い。

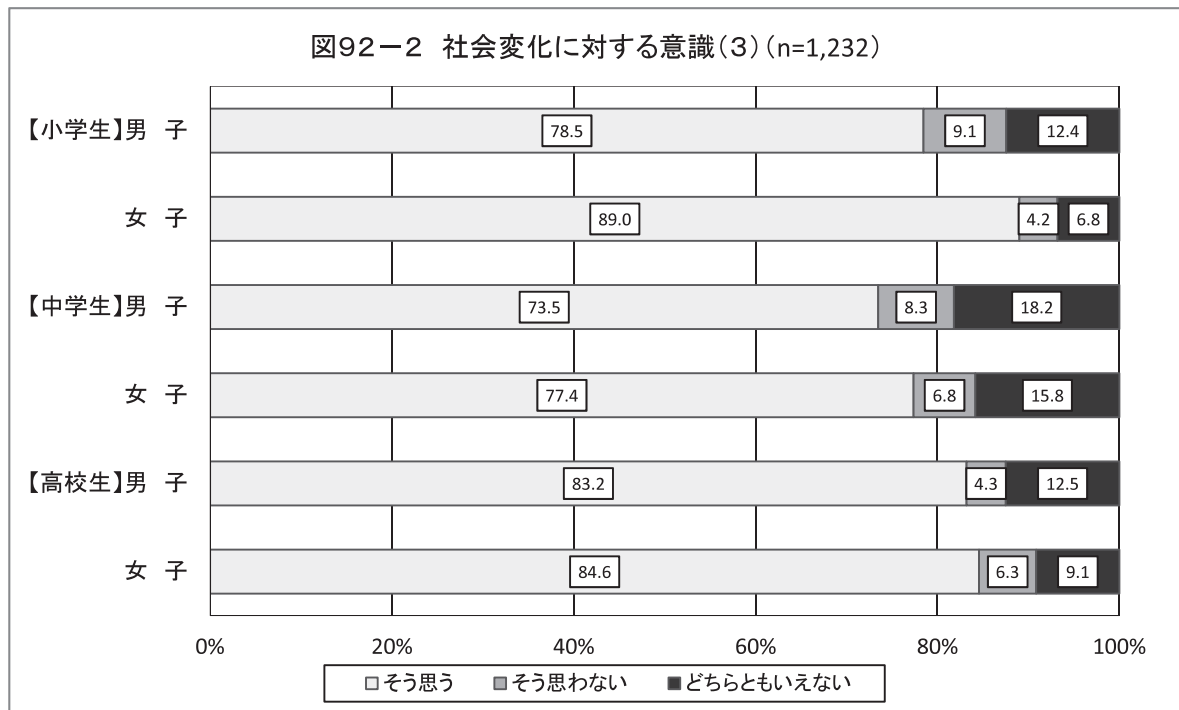
【学校種別集計結果】

「そう思う」を見てみると、高校生が83.8%で最も高く、以下、小学生(83.5%)、中学生(75.5%)となっている。



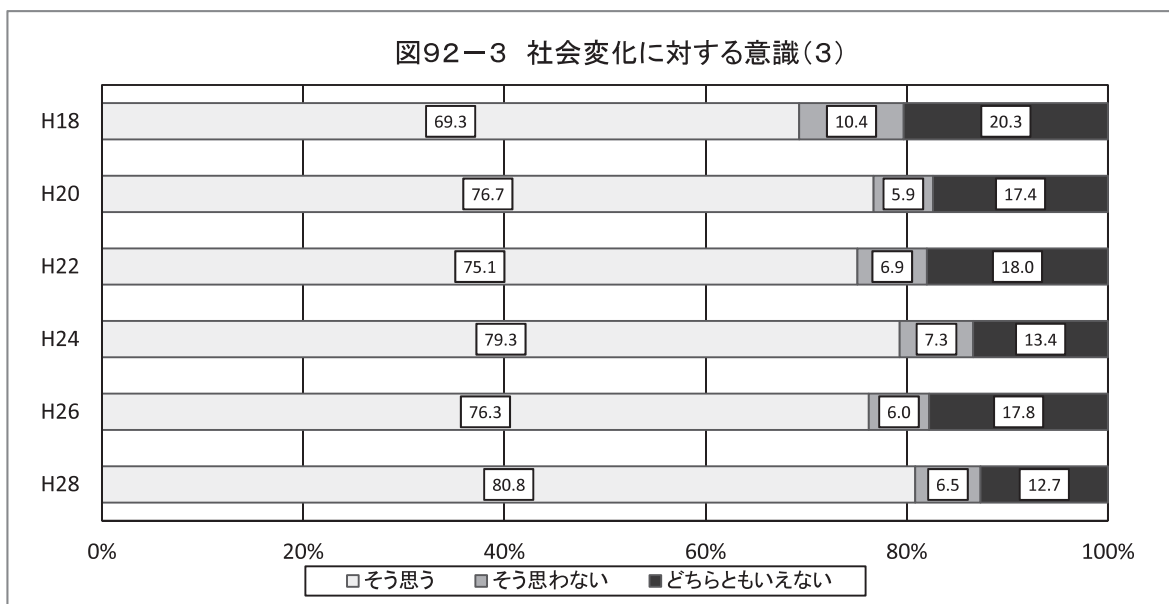
【属性別集計結果】

「そう思う」を見てみると、小学女子が89.0%で最も高く、以下高校女子(84.6%)、高校男子(83.2%)となっている。



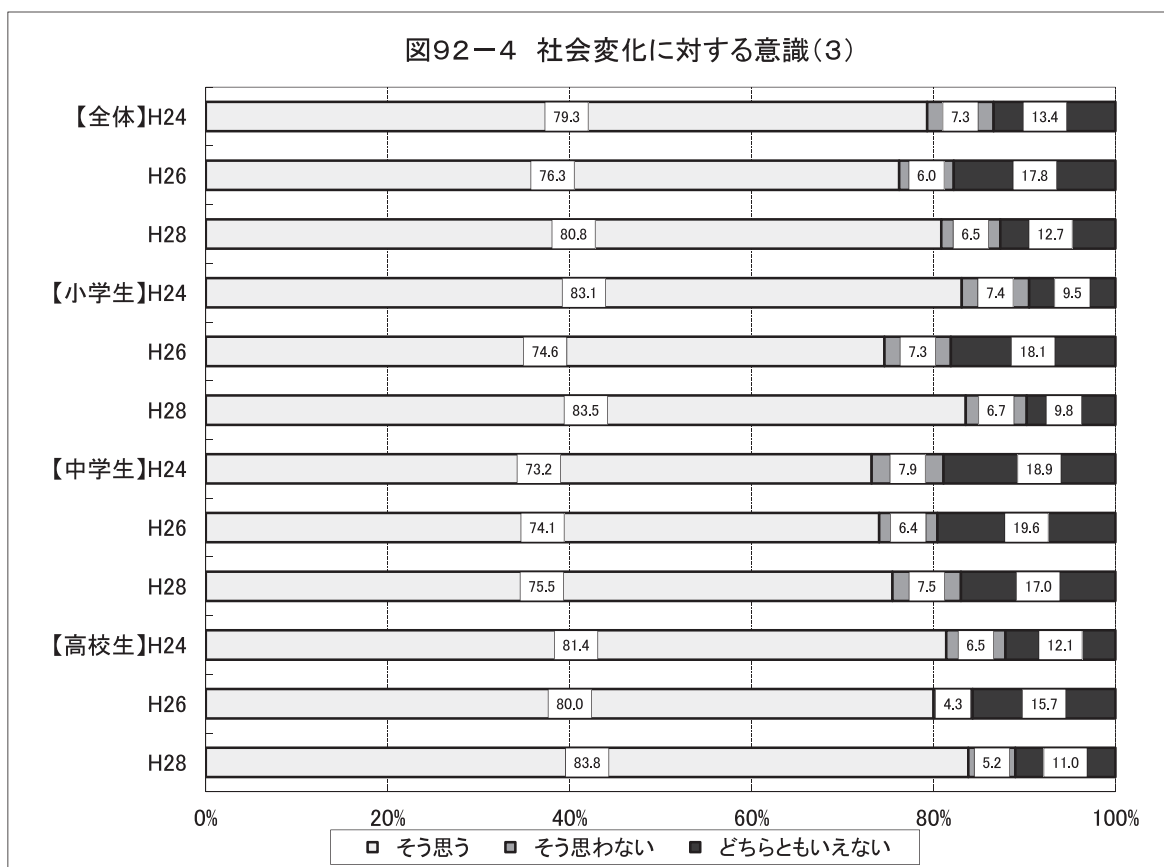
【経年変化】

過去の調査と比較すると、「そう思う」について、増加傾向にあり、26年度調査より4.5ポイント増加している。



【時系列比較(平成24年度、26年度と28年度との比較)】

「そう思う」を見てみると、全体では26年度より4.5ポイント増加している。学校種別において、26年度と28年度を比較してみると、小学生では8.9ポイント、中学生では1.4ポイント、高校生では3.8ポイント増加している。



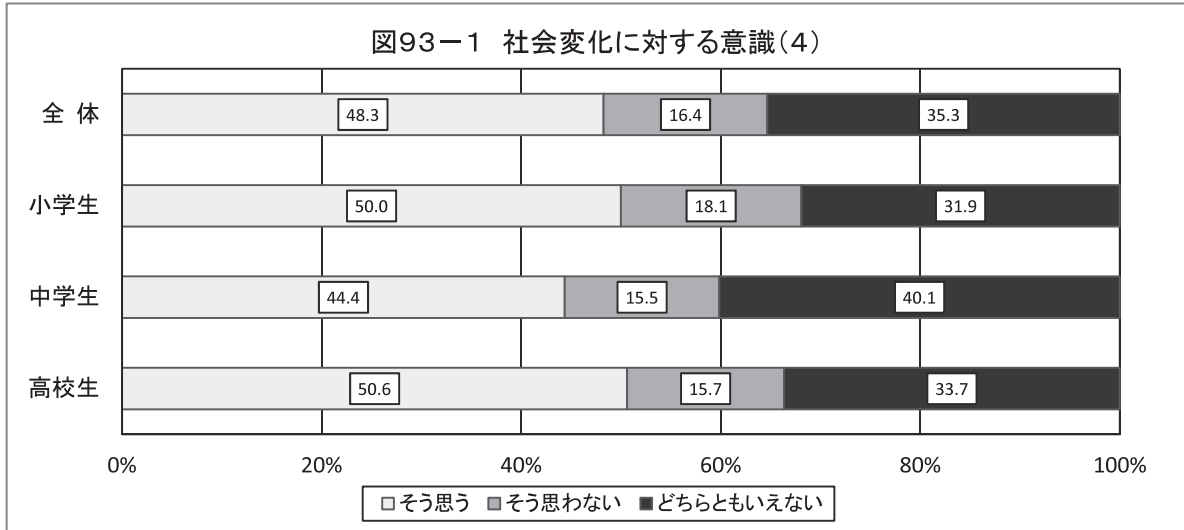
(4) 社会に出たとき、女の人をもっと管理職などの権限のある立場につくべきだ

【全体集計結果】

社会に出たとき、女の人をもっと管理職などの決定権のある立場につくべきかどうか尋ねたところ、「そう思う」が48.3%で最も高い。

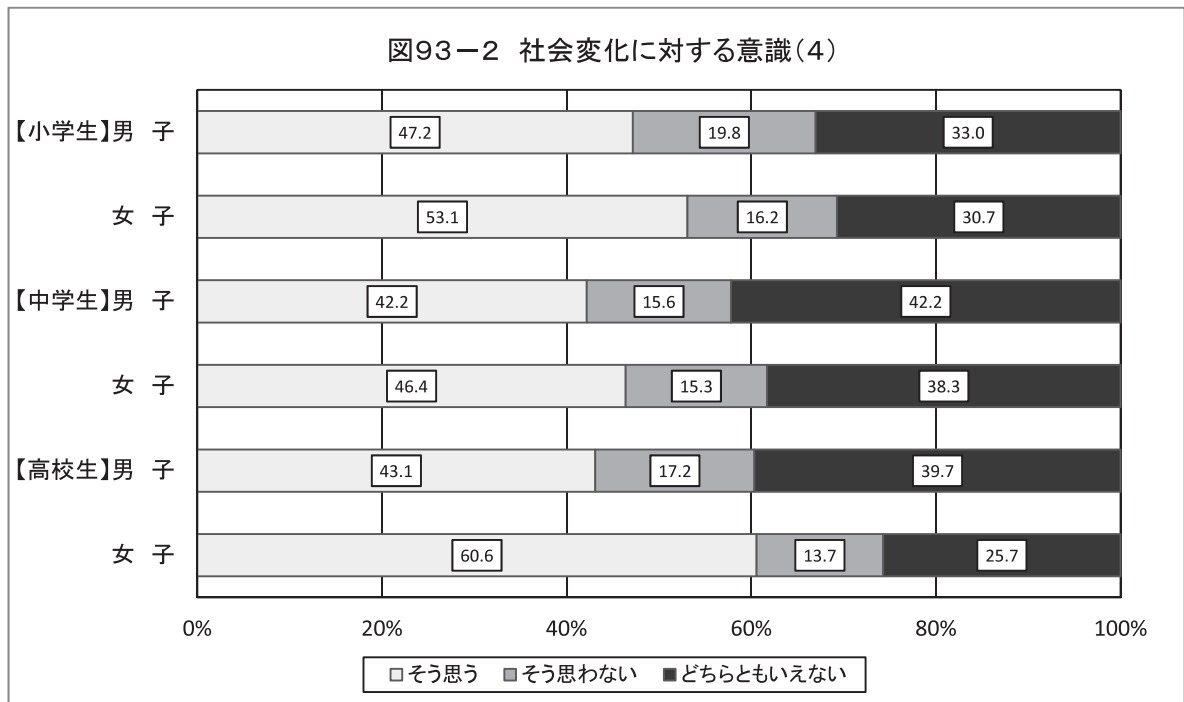
【学校種別集計結果】

「そう思う」を見てみると、高校生が50.6%で最も高く、以下、小学生(50.0%)、中学生(44.4%)となっている。



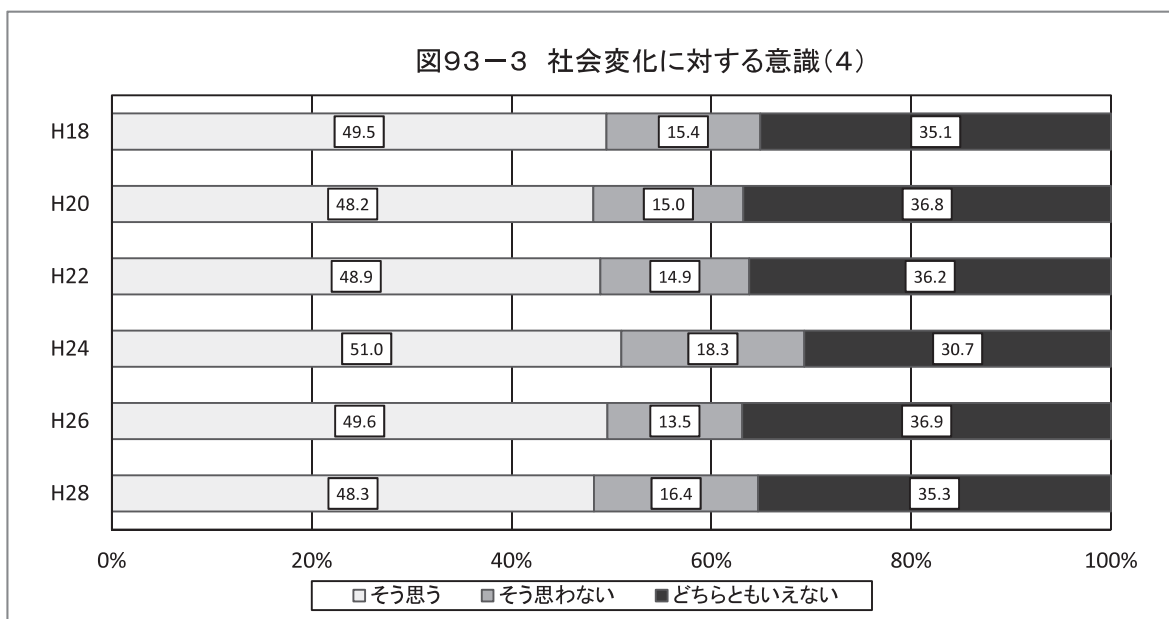
【属性別集計結果】

「そう思う」を見てみると、高校女子が60.6%で最も高く、以下小学女子(53.1%)、小学男子(47.2%)となっている。



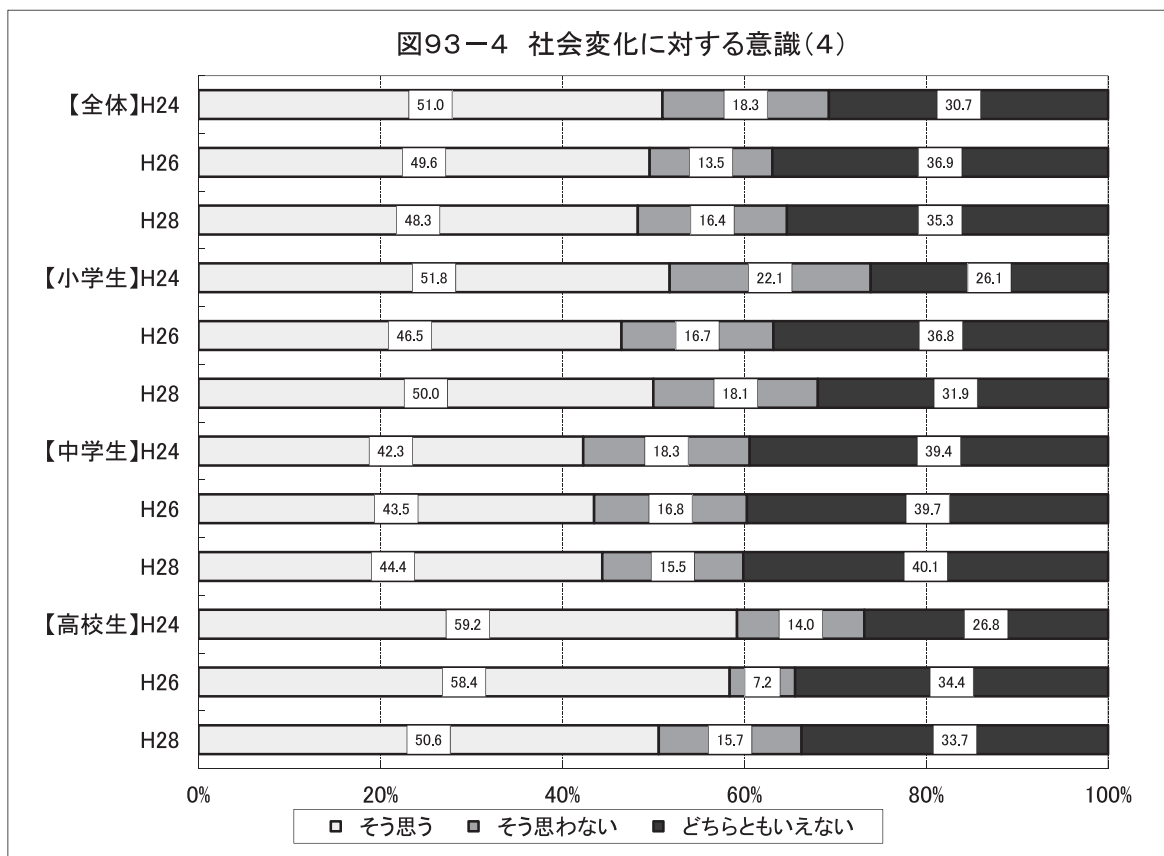
【経年変化】

過去の調査と比較すると、「そう思う」について、ほぼ横ばいとなっている。



【時系列比較(平成24年度、26年度と28年度との比較)】

「そう思う」を見てみると、全体では26年度より1.3ポイント減少している。学校種別において、26年度と28年度を比較してみると、小学生では3.5ポイント、中学生では0.9ポイント増加している。一方、高校生では7.8ポイント減少している。



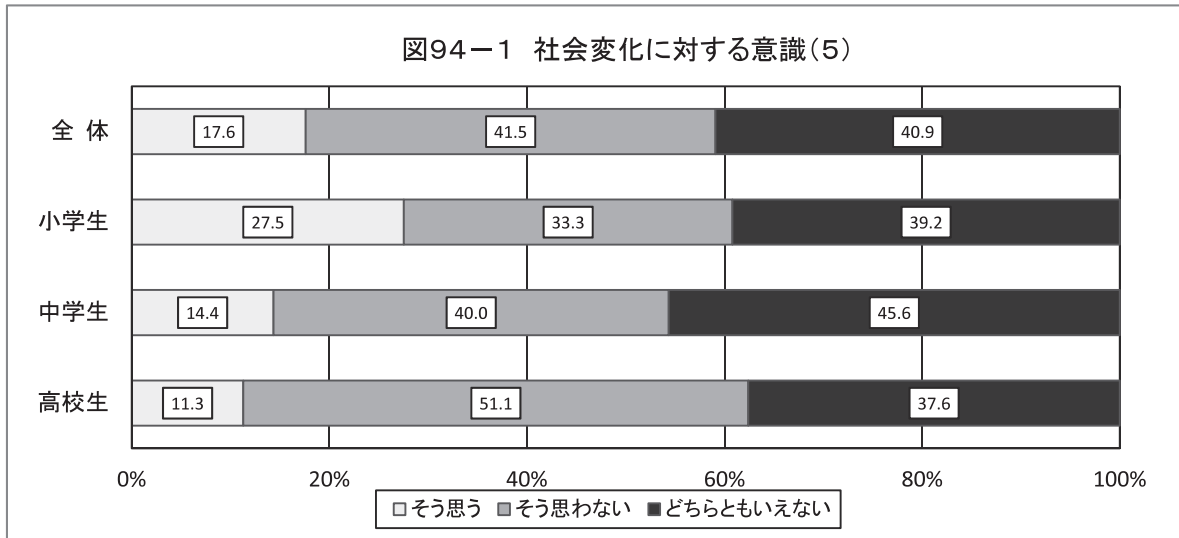
(5) いま住んでいる地域に将来も住み続けるのは当然だ

【全体集計結果】

いま住んでいる地域に将来も住み続けるべきかどうか尋ねたところ、「そう思わない」が41.5%で最も高い。

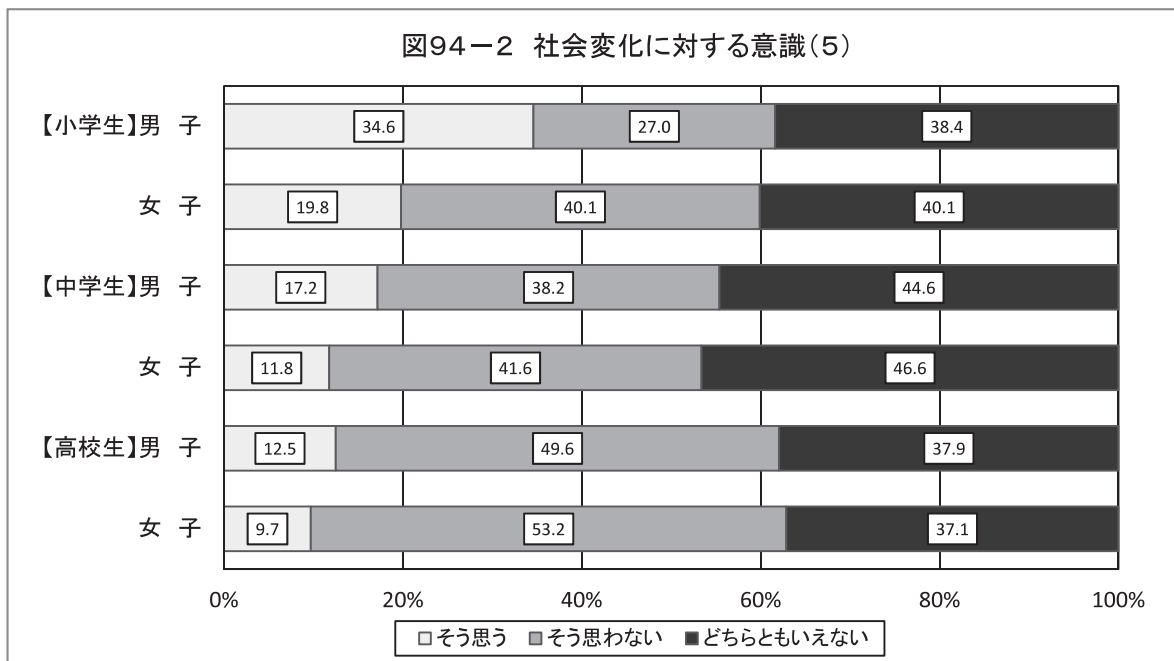
【学校種別集計結果】

「そう思わない」を見てみると、高校生が51.1%で最も高く、以下、中学生(40.0%)、小学生(33.3%)となっている。小学生、中学生については、「どちらともいえない」が最も高くなっている。



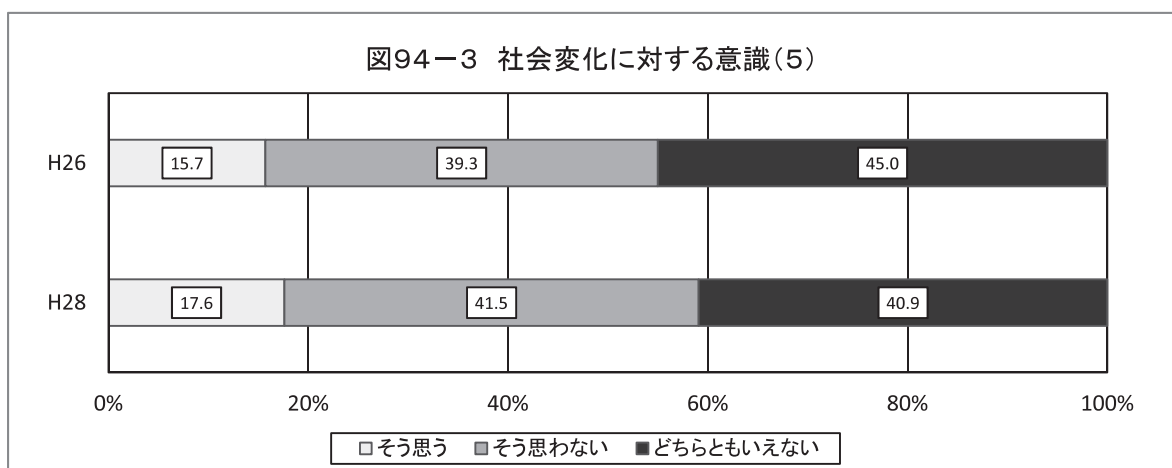
【属性別集計結果】

「そう思わない」を見てみると、高校女子が53.2%で最も高く、以下高校男子(49.6%)、中学女子(41.6%)となっている。「そう思わない」については、男子より女子の方がポイントが高く、「そう思う」については、女子より男子の方がポイントが高くなっている。



【経年変化】

26年度調査と比較すると、「そう思わない」について2. 2ポイント増加しているが、一方、「そう思う」についても1. 9ポイント増加している。



【時系列比較(平成26年度と28年度との比較)】

「そう思わない」を見てみると、全体では26年度より2. 2ポイント増加している。学校種別において、26年度と28年度を比較してみると、小学生では1. 3ポイント、高校生では7. 9ポイント増加している。一方、中学生では3. 0ポイント減少している。

